



じゃがいもずきん
「ききぼう」くん

地震の際、建物が無事でも、家具の転倒や散乱によって、出入口がふさがれて逃げ遅れたり、怪我を負ったりすることがあります。

近年発生した大きな地震での負傷原因は、約3～5割の方が家具の転倒・落下によるものです。家具の転倒・落下は、つまずいて転んだり、割れた食器やガラスで怪我をするなど、さまざまな危険があるため、室内の安全対策が必要です。

逃げ遅れることがないよう、家具の固定や配置の見直しなど、今できる減災対策を行いましょう。

地震に備え『家具の配置』や『家具の固定』を見直しましょう!!

□家具などを配置する場合は、出入口や就寝位置と重ならないように注意しましょう。

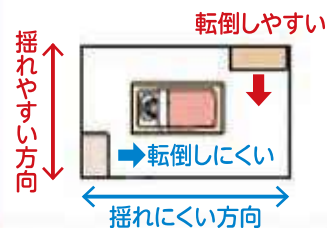
□カーテン、カーペットや寝具などは、防災加工されたものを使用しましょう。

□背の高い家具や本棚は、L型金具などで壁に固定しましょう。タンス・本棚などに収納する時は重い物を下に、軽い物を上に収納しましょう。

□万が一の時のために運動靴やスリッパを用意しておきましょう。



建物が長方形の場合、構造的に短辺方向に揺れやすくなります。



□家具の上には、ガラス製品などの割れやすい物は置かないようにしましょう。

□家具の扉などにガラスが使われている場合は、飛散防止フィルムをはりましょう。

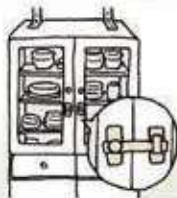
□家具や本棚の下に転倒防止のシートを置き、壁にもたせ気味に配置しましょう。

テレビ・パソコン



□できるだけ低い位置に固定して置き(家具の上はさける)、金具や耐震マットなどで固定しましょう。

食器棚



□L字金具や支え棒などで固定し、棚板には滑り止めシートを敷きましょう。扉は開かないように留め金具をつけましょう。

タンス・本棚



□L字金具や支え棒などで固定しましょう。上下2段タイプの場合は、つなぎ目を金具で連結しましょう。

暖房機器



□耐震自動消火装置付きのを選び、周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。



中標津町

毎年10月4日は



防災の日です!

1994（平成6）年10月4日22時23分、北海道東方沖地震が発生しました。地震の規模は、マグニチュード8.2と、2011（平成23）年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震が起こるまでは、気象庁がデータを整理している1923（大正12）年以降、日本周辺で発生した地震としては、最大級の地震でした。

最大震度は、釧路市と厚岸町で震度6が観測され、中標津町は当初震度4と発表されましたが、地震計が設置されている場所が市街地から離れ、地盤も頑丈であったため現在の震度階級（1996年改定）に当てはめれば、震度5強から6弱程度に相当する地震だったと推測されています。

釧路市での被害が目立っていましたが、中標津町での被害も甚大で、建物や道路が損壊し、断水により給水車が出動するなど、大きな被害を受けました。

中標津町では、災害での教訓を風化させないため、北海道東方沖地震が発生した10月4日を「中標津町防災の日」として定めています。



写真は全て、当時の中標津町の様子です。甚大な被害でした。

詳しくは、総務課 防災係まで。